

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 25 日作成)

委員会名	住環境小委員会	主 査 名：塩崎賢明
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：佐藤 滋
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	共通テーマ:居住地の再編と住環境政策 昨年度に引き続き、今日の居住地の再編動向を把握し住環境政策を構築していくことを共通の研究テーマとする。	
委員構成 (委員名(所属))	塩崎賢明(神戸大学) 齊藤広子(明海大学) 平山洋介(神戸大学) 大家亮子(成城大学) 有賀隆(名古屋大学) 加藤仁美(東海大学) 北原啓司(弘前大学) 児玉善郎(日本福祉大学) 清水肇(琉球大学) 野澤 康(工学院大学) 堀田祐三子(神戸大学) 増田昌彦(大阪府) 松本暢子(大妻女子大学) 間野博(県立広島女子大学) 宮本知明(マヌ都市建築研究所)	
設置 WG (WG 名:目的)	郊外居住地研究ワーキンググループ 高度成長期に大都市圏で大量に形成された郊外居住地の形成・発展 現状の動向を、各都市圏で分担しながら共通的な手法で把握し、比較の材料を整えることを具体的な作業課題とする。	
2003 年度予算	180,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003 年 9 月 4 日 (木) 18:00 ~、出席者 11 名 2004 年 3 月 6 日 (土) 11:00 ~、出席者 9 名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>研究資料集「現代の居住地再編と住環境政策()」の発行 2003 年大会にて研究資料集の出版 107 ページ、150 部、2200 円、完売。 「成熟郊外ニュータウンの課題と再生」見学会 2003 年 9 月 4 日、参加者 20 名 見学地 高蔵寺ニュータウン (講師 愛知工業大学 曾田忠宏) 桜ヶ丘ハイツ (岐阜県可児市) 公開研究会「都市再生・地域再生の最前線 - 地方と東京 -」 日時 2003 年 10 月 24 日 (金) 会場 建築会館会議室、出席者 30 名 見学会の開催 2004 年 3 月 6 ~ 7 日、参加者 13 人 見学地 あすみが丘ワンハンドレッドヒルズ きららのくに ヒルズ ガーデンあづま ガーデンシティ湖南 つくば豊里の杜 室前</p> <p>委員会 HP アドレス:</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>住環境の再編の現代的動向を把握するという点では、研究資料の発行によって、全体の見取り図が得られ、特に郊外居住地の動向把握が 2 度の見学会を通して行われ、首都圏・中部圏についての共通認識が深まった。今後、近畿圏での現地見学調査が必要である。政策的には、検討が十分に展開できなかったが、都心と郊外における開発・衰退の跛行的現象をいかに政策誘導するかという点の議論が深まった。</p>
その他評価すべき事項	